

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	グループホームは認知症の進行を緩やかにする生活の場から在宅復帰に向けた中間住居としての役割へ期待され変化してきています。地域の方々も共に参加でき、お互いが共存し向上できるような交流の場(認知症カフェ等)を利用して住み慣れた地域で過ごせる位置づけ(グループホーム)を目指していきたいです。その中で利用者様が個々の役割を見つけ変わっていく姿がみられるように支援していきたいです。	グループホームで生活する中で地域とのつながりを意識し、一人ひとりがグループホーム及び地域の中での役割を実感し、目標を持ち生活できるように努めて行く。	①地域のふれあいの場を開拓する。 ・第2水曜日開催予定の認知症カフェへ参加 ・ふれあいサロンへ参加 ・地域の喫茶店を利用する ・地域のお祭りに参加する ②既存のクラブを通して地域住民、家族との絆を深める ☆料理クラブ ・地域の方々と共に料理活動を楽しめるよう設定する ・自家栽培で収穫した季節の野菜を使用し定期的に収穫パーティーを企画する ☆書道、短歌クラブ ・書道、短歌など良い作品が出来た時には展示会等に応募する ・短歌経験者を招き、短歌教室を計画する ・短歌を人前で披露出来る機会を持つ ☆その日にやりたいことを決めるクラブ ・地域の方とのふれ合いの中で新しい活動に挑戦する ・畑や花壇を作る時には地域の方達にやり方を教えていただく ・自宅やお墓参り等へ出掛ける機会を持つ ③実現可能に向けてのケアプランを作成する。 ④週1回のカンファレンスにて実施状況について検討する。 ⑤運営推進会議(2ヶ月に1回)にて目標達成計画への取り組みを報告する。 ⑥家族交流会や面会時に家族へ近況の報告する。	2ヶ月
					10ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。